

# みんなの広場

## 新型コロナに負けない！元気応援メッセージ展

### コロナ差別を無くすためにできること

新型コロナウイルス感染症と闘っている人などに向け、県内の小・中学生が書いた『応援メッセージ』の展示会が、市役所でありました。これは、県が募集した作品の一部を借りて展示したもので、子どもたちの心の込もったメッセージを通じ、コロナ差別を無くすためにどう行動したらよいかを考えてほしいと来場者に呼びかけました。



↑市民の人権意識の高揚を図るため、元気応援メッセージ展を企画した人権・同和対策課の職員

## ハイブリッド式海洋温度差発電設備をマレーシアに輸出 世界初の開発。小さな一歩だが重要な一歩

佐賀大学海洋エネルギー研究センターは、株式会社ゼネシス(黒川町)で、新しい海洋温度差発電の実証設備を開発し、説明会を開催しました。海洋温度差発電とは、海の表層と深層の温度差を利用して発電させるもので、今回は同時に海水の淡水化もできる世界初の方式を導入。本設備は今年中にマレーシアに輸出され、将来的に実用化を目指します。



↑輸出するハイブリッド式海洋温度差発電装置

↑マレーシアの温暖な海が海洋温度差発電の実証に適していると話す池上康之センター長

## 124年ぶりの2月2日の節分

### 心の中の鬼をやっつけたよ

2・3日、市内の保育園などで豆まきがありました。伊万里保育園では、園児たちが新型コロナウイルス感染症や心の中に潜む『泣き虫鬼』、『忘れん坊鬼』を退治しようと鬼に見立てた箱に向かって豆を投げました。その後、突然現れた鬼に驚き、泣きながら先生にしがみついたり、逃げ回ったりしましたが、最後はすっかり仲良くなりました。



↑心の中の鬼に見立てた箱に向かって豆を投げる園児たち

## 市民センターカルチャー講座『焼き物づくり教室』 一度は体験してみたい焼き物づくり

市民センターで焼き物づくり教室が開講しました。教室は2月10日までに全3回開催され、上絵・下絵付けとろくろを学びました。伊万里・有田焼伝統工芸士の市川浩二さんと副田弘貴さんを講師に招き、この日は慣れない筆を持って皿の上絵付けに挑戦。参加者は「伊万里にいるなら、一度はやってみたいと思っていた」と話しました。



↑真っ白な皿に色を付けていく作業は、全集中